

ともしび

2012



早いもので私がつもしび法話会のメンバー
 になってから、二度目の春を迎えることとな
 りました。

春は、さまざまな草木が芽吹く時期です。
 梅・桜・福寿草など、冬の寒さを乗り越えて
 花を咲かせるその姿に、私はとても勇気をも
 らいます。

昨年度二人のメンバーが抜け、どことなく
 寂しい気持ちでいました。しかし、これらの
 花々を見ると、また新しい気持ちで頑張
 ろうという思いが湧いてきます。今年度は新
 しく三人のメンバーが入り、昨年度より一人
 多い六人で法話会を盛り上げていきます。

春にいろいろな花が咲くように、それぞれ
 の個性を生かした法話会を目指し、皆様と
 共に歩んでいきたいと思えます。

〈みやげ だいてつ
 三宅 大哲〉

仲 間 で す

震災から一年が過ぎ、被災地もだいぶ落ち着きを取り戻してきていますが、まだまだ多くの問題を抱えています。それだけではありません。これから社会が変化していく



なかの こうかい
中野 孝海

年齢…24才

出身…福島県

趣味…映画鑑賞

皆さん初めまして。福島県出身の中野孝海です。

今年からともしび法話会の一員となりました。これから、ここでしか学ぶことのできない数多くの

ものを学びたいと考えています。

震災から一年が過ぎ、

被災地もだいぶ落ち着き

を取り戻してきています

が、まだまだ多くの問題

を抱えています。それだ

けではありません。これ

から社会が変化していく

時、もつと多くの問題が起こると思います。その前に何をしなければならぬのかを考え、少しでも人の力になれるよう頑張りたいと思います。



ひび はくえい
日比 博英

年齢…26才

出身…北海道

趣味…料理

皆様、初めまして。この度、

ともしび法話会の一員となり

ました、日比博英です。私は駒

澤大学仏教学部を卒業し、先月

まで、大本山永平寺で四年間の

修行生活をしてきました。この

【3】

私達の新しい



まつば ゆうぜん
松葉 祐全

修行生活では「人は、一人では生きられない」ということを強く感じました。共に生活する仲間と助け合ったことはもちろん、遠くに居ながら修行僧の生活を支えてくださる方々のおかげで修行することができたからです。直接会うことのない方々に支えられ、今の自分の生活があるのだと実感しました。これから人生の大先輩である皆様と一緒にさまざまなことを学ばせていただきたいと思っています。よろしくお願ひします。

初めまして、私は松葉裕全と言います。私は、仏教や曹洞宗の教えについて、大学や大学院で学び、永平寺でも修行させていただきました。その中で、仏教や禅の教えに興味を持っていたくためにはどうすれば良いのかということはずっと考えていました。そして「文化」が重要だと気がつきました。宗教と現代、僧侶と一般の方を文化によってつないでいけば、寺院と皆さんがつながっていくきっかけになるのではないかと考えています。これから皆さんに、そんな私の思いをお話できたらと考えています。三年間よろしくお願ひします。

年齢…25才

出身…千葉県

趣味…読書

ともしび法話会より

寒い冬が終わり、ようやくぽかぽか陽気の春がやってきました。鮮やかにサクラが花開いているこの季節、ともしび法話会には新しく二人のメンバーが加わりました。昨年度と変わることなく、本年度も親しみやすい法話会を心掛けていきます。そして皆様と一緒にレクリエーションを行ったり、歌を歌ったりして楽しい時間を過ごしていきたいと思います。

それではここで、今年度の『ともしび』の誌面内容を皆様にご紹介いたします。

一面では、折々の季節感を味わっていただきます。季節に咲く花々の写真や、その風景、また季節の節目に行われる行事の写真を載せて、その情景をお届けいたします。

二・三面では、「ブツダと私」と題して、お釈迦様の

言葉を取り上げます。お釈迦様の言葉を、自分自身の経験や思いを通して皆様に伝えるいたします。私達の熱い思いを届けられたらと思います。

四面では、「わたしのふるさと」と題し、メンバーそれぞれのふるさとや、ゆかりのある土地のご紹介をいたします。皆様も旅行している気分になって読んでみてくださいね。

若い三人のメンバーを加えてパワーアップした「ともしび法話会」で楽しい時間を一緒に過ごしましょう。本年度もよろしく願いいたします。
さわき ほうしょう
 〈澤城 邦生〉



〒105-8544 東京都 港区 芝 2-5-2 曹洞宗宗務庁 内
 曹洞宗総合研究センター 教化研修部門 一般教化課程
 ともしび法話会

TEL 03-3454-6844 FAX 03-3454-7180

2012(平成24)年 4月1日発行 第363号